

令和元年度 日本遺産魅力発信推進事業 進捗状況

事業区分	事業概要	事業費 (単位：円)
情報発信事業	情報発信及び現地ナビゲーションの充実を図る多言語対応観光アプリ構築事業 日本遺産の周遊を促進するサイトの作成（ココシル那須野が原） <ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアー結果を反映した周遊コース ・食に関する情報 	550,000
	パンフレット・ポスター等による日本遺産の魅力発信事業 総合パンフレットの制作 <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信拠点への設置 ・日本遺産講座等での配布 ・地域の観光資源と日本遺産を結びつけ、周遊を促進 	654,500
人材育成事業	郷土愛とシビックプライドを育む人材育成事業 日本遺産の基本的な知識を学ぶガイド講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・全6回 	2,998,380
普及啓発事業	文学を通じた日本遺産普及啓発事業 那須野が原を題材とした WEB による小説公募 <ul style="list-style-type: none"> ・応募総数 110 作品 地域内の高校生を対象とする物語作成ワークショップの開催（全5回） <ul style="list-style-type: none"> ・矢板中央高(10/30)、大田原女子高(11/8、12/17)、黒磯高(12/16)、那須拓陽高(12/18) 	3,960,000
調査研究事業	魅力ある商品開発に向けたモニターツアー事業 周遊コース開発のためのモニターツアー開催（全5回） <ul style="list-style-type: none"> ・9/13～14、9/19～20、10/7～8、11/10、12/14～15 ・広告の掲載 ・結果に基づくモデルコースの作成 ・温泉・自然などの観光資源・地元食などと構成文化財の連携 	5,650,000
公開活用整備事業	構成文化財の案内看板整備 構成文化財への案内看板（27箇所）設置 <ul style="list-style-type: none"> ・栃木県内での統一様式 ・QRコードによる外国語対応 	4,235,000

那須野が原開拓浪漫譚

日本遺産を学び 地域の魅力発信



那須塩原 ガイド養成講座開講

【那須塩原】日本遺産「明治貴族が描いた未来〜那須野が原開拓浪漫譚〜」を活用しようと、地域住民らを対象とした第1回ガイド養成講座が16日、那須野が原博物館で行われた。日本遺産を構成する4市町などから51人が参加し、専門家からガイドや日本遺産のストーリー、構成文化財についての講義を受けるなど日本遺産を地域として支える学びがスタートした。

4市町などから51人参加

同遺産の活用推進事業の一環で、養成講座は3月まで、構成文化財についての講義をはじめ安全対策や接遇研修、先進地視察などを行い、全課程終了後に修了証書を授与する。

講演したクラブツーリズムの黒田尚嗣顧問は「これからのガイドは那須野が原の魅力ストーリーとして継続的に伝える意思のある人」などと強調。この後、同博物館の松本裕之館長が、日本遺産のストーリーの要点とそれに関わる構成文化財について分かりやすく解説した。

専門家からガイドや日本遺産について学ぶ受講者。

住民をはじめ、観光業に携わる人など幅広い人材が参加。南町、吉田俊一さん（62）は「地元の財産について知りたかった。日本遺産に関する知識を還元で

きる場があれば案内したい」と話す。「お客の質問に答えられる知識を身に付けたい」という塩原温泉の旅館「彩つむぎ」おかみの君島理恵さんは、「体系的に学びたい」と思っていた。これを契機に地域の魅力をアピールしたい」と意気込む。

SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE
東北・日光版

下野新聞 2019年(令和元年)10月31日(木曜日) 地域 28

日本遺産「那須野が原」発信へ

物語創作で地域知ろう

矢板中央高生、執筆に挑戦

活用推進協が
ワークショップ



【矢板】昨年、日本遺産に認定された「明治貴族が描いた未来、那須野が原開拓浪漫譚」の活用推進協議会は30日、矢板中央高で「物語の書き方ワークショップ」を開いた。高校生たちに地域の歴史や創作の楽しさを知ってもらい、日本遺産への理解や情報発信につなげようと初めて開催。1年生約30人が、現役のクリエイターからストーリーの作り方を学んだ。

（太田啓介）

DeNAでアニメプロデューサーなどを務める上町裕介さん（34）が講師を務めた。上町さんは「日常の中に物語性は存在しており、その良さに気づけるかが大切」と強調。「創作力は誰にでもあり、好きなことを世の中に発信するだけでも創作だ」と呼び掛けた。

生徒たちは上町さんらのアドバイスを受けながら、「ねがいごと」をテーマに5分で読める物語の執筆に挑戦。「お金持ちになりたい」「芸能人と仲良くなりたい」など、思い思いの題材で書き進め、完成した物語を発表していった。

山本柚奈さん（16）は「日本遺産をあまりよく知らなかったのも、もっと勉強しようと思った。友人と話し合いながらの創作は、考え方の違いなども分かり楽しかった」と笑顔で話した。

同協議会は、日本遺産の構成文化財がある矢板、那須塩原、大田原、那須の高校で希望に応じて、ワークショップを開催していく予定。物語の執筆を通して、高校生に日本遺産への理解を深めてもらいたい考え。

SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE

東北・日光版

12月まで構成文化財を題材とした小説の公募を行っており、高校生の応募はもうなげたいとしている。

【魅力ある商品開発に向けたモニターツアー事業】

那須塩原市、「日本遺産」テーマにモニターツアー実施

© 2019年10月6日 シェア [ツイート](#) LINEで送る



山形有朋記念館

旅行会社社員約20人が参加

栃木県的那須塩原市観光局は、市の観光魅力を知ってもらい、商品造成に生かしてもらおうと、13、14の両日、旅行会社の社員を対象にモニターツアーを実施した。初の試みで、本紙記者も同行取材した。同局はアンケートの回答を分析し、今後の事業に役立てていく方針だ。

栃木県的那須塩原市観光局は、市の観光魅力を知ってもらい、商品造成に生かしてもらおうと、13、14の両日、旅行会社の社員を対象にモニターツアーを実施した。初の試みで、本紙記者も同行取材した。同局はアンケートの回答を分析し、今後の事業に役立てていく方針だ。

今回は、市に点在する日本遺産にスポットを当てた「日本遺産『那須野が原開拓浪漫』を巡る」をテーマに実施。日本旅行や近畿日本ツーリストなど約20人の商品造成担当者が参加した。

2018年5月に、県東北部に広がる日本最大級の扇状地「那須野が原」が日本遺産として認定され、那須塩原の新たな観光資源となっている。

13日、JR那須塩原駅からバスで出発。まず向かったのは道の駅でもある那須野が原博物館。館内には「日本遺産コーナー」が設けられ、現存する四つの別邸の模型をはじめ、パネルや映像、資料などが展示されている。特別展「昆虫創成記」が開催中で、参加者は童心に帰って熱心に眺めていた。

元勲・松方正義が開墾した千本松牧場は、東京ドーム178個分という広大な土地で乳牛約500頭を飼育している。観光牧場でもあり、多くの観光客が訪れる。

ここではバター作り体験（500円）やジンギスカンの昼食を。バター作り体験の評判は良く、「自分で作ったバターをクラッカーに付けて食べるのは満足感がある。家族やカップルに喜ばれそう」と参加者の1人。

この後、山形有朋記念館を見学し、天皇の間記念公園では琴の演奏で迎えられ、抹茶のもてなしも。ご当地グルメ・とて焼も堪能した。

この日の宿泊は塩原温泉の光雲荘。昔、またぎたちが山奥で食べていた味を再現した、樽に焼け石を入れる「石焼樽（たる）」が自慢。立ち上る水蒸気は野趣満点で、「見た目も派手で、味付けもいい。宿泊客が喜ぶ料理だ」と太鼓判を押していた。

2日目は日本遺産の旧青木家那須別邸の見学からスタート。明治政府で外相を務めた青木周蔵が残した別荘で、白亜の洋館が青空に映える。

世界かんがい施設遺産である那須疏水旧取水施設も見学。地味な印象が拭えず、「世界施設遺産としてのアピールも十分でない。もっとテコ入れすべき」だとの意見もあった。

参加者が驚いていたのが那須ワイン。れっきとした日本遺産だが、「那須塩原にワインの印象があまりないだけにびっくりした」と参加者の1人。乃木希典が愛飲したと伝わっており、今でも乃木神社に奉納されている。

ツアーを振り返り、「とても勉強になった。日本遺産という一つのテーマで旅するのはいい試みだと思う。開拓時代の雰囲気を感じることができた」と評価する声がある一方、「那須塩原駅の周辺が寂しい。新幹線の停車駅とは思えない。開発の余地があるのでは」という指摘もあった。

【国庫補助事業以外の取組】

日程	取組内容	場所
6月8日	那須塩原クリテリウムでのブース出展	那須塩原駅前特設会場
11月16日	とちぎ版文化プログラム「明治の情景～未来へつなぐ」とちぎの記憶」でのブース出展	道の駅明治の森黒磯特設会場
11月26日	「日本遺産認定最終年に向けた自治体勉強会」での事例発表	参議院議員会館
1月8日	笠間市・益子町「日本遺産認定に向けたシンポジウム」での事例発表	笠間市友部公民館
2月11～13日	日本遺産の日 PR イベントでのブース出展	有楽町駅前特設会場

YAHOO! ニュース
JAPAN

トップ	速報	映像	個人	特集	みんなの意見	ランキング	有	
主要	国内	国際	経済	エンタメ	スポーツ	IT	科学	ライフ

初の「日本遺産の日」にぎわう 都内でPRイベント

2/13(木) 17:21配信



初めて迎えた「日本遺産の日」に合わせ、JR有楽町駅前の広場で開かれたPRイベント＝13日、東京都千代田区

地域の文化財を生かして観光振興につなげる日本遺産制度をPRするイベントが13日、東京都内で開かれた。同日は、文化庁が昨年創設し、初めて迎えた「日本遺産の日」に当たり、多くの人でにぎわった。

また制度の広報に協力する「日本遺産大使」に、人気グループ「EXILE」のUSAさん、漫才コンビ「ナイツ」の埴宣之さんと土屋伸之さん、能楽師の大倉正之助さんの4人を選定。大使は計12人になった。

日本遺産は2015年度に始まり、これまでに東京都を除く46道府県の83件が認定された。文化庁は「にほん(2) いさん(13)」の語呂合わせで2月13日を日本遺産の日に決めた。